

みずほCustomer Desk Report 2016/05/02 号 (As of 2016/04/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.11	1.1357	122.70	0.9662	1.4613	0.7633
SYD-NY High	108.18	1.1460	122.93	0.9673	1.4672	0.7669
SYD-NY Low	106.27	1.1349	121.67	0.9568	1.4577	0.7588
NY 5:00 PM	106.45	1.1455	121.84	0.9595	1.4608	0.7603
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.23/11.73		△25RR	2.030	Yen Call Over	

	債券市場	為替市況	商品市況
NY DOW	17,773.64 ▲57.12	日本2年債	CRB指数
NASDAQ	4,775.36 ▲29.93	日本10年債	NY金
S&P	2,065.30 ▲10.51	米国2年債	WTI
日経平均	-	米国5年債	Dubai Spot
TOPIX	-	米国10年債	
シカゴ日経先物	15,925 ▲410.00	独10年債	
ロンドンFT	6,241.89 ▲80.51	英10年債	
DAX	10,038.97 ▲282.18	豪10年債	
ハンセン指数	21,067.05 ▲320.98	USD/CNH	
上海総合	2,938.32 ▲7.27	ドルインデックス	
USDJPY 3M Vol	11.82 0.70%		
USDJPY 6M Vol	11.42 0.48%		
EURJPY 3M Vol	11.55 0.40%		
EURJPY 6M Vol	11.28 0.36%		

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
4月29日	10:30	豪 民間部門信用 (前月比/前年比)	3月 0.4%/6.4%	0.5%/6.6%	
	14:30	仏 GDP (前期比/前年比)	第1Q 0.5%/1.3%	0.4%/1.0%	
	18:00	欧 失業率	3月 10.2%	10.3%	
	18:00	欧 CPI予想 / CPIコア (前年比)	4月 -0.2%/0.7%	-0.1%/0.9%	
	18:00	欧 GDP (前期比/前年比)	第1Q 0.6%/1.6%	0.4%/1.4%	
	21:30	米 個人所得/個人支出	3月 0.4%/0.1%	0.3%/0.2%	
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	4月 50.4	52.6	
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	4月 89.0	90.0	
	5月1日	10:00	米 製造業PMI / 非製造業PMI	4月 50.1/53.5	50.3/-

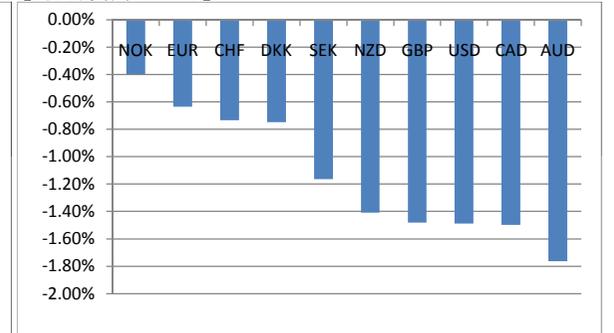
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月2日	16:50	仏 製造業PMI・確報値	4月 48.3	48.3
	16:55	独 製造業PMI・確報値	4月 51.9	51.9
	17:00	欧 製造業PMI・確報値	4月 51.5	51.5
	22:45	米 製造業PMI・確報値	4月 50.8	50.8
	23:00	米 ISM製造業景況指数	4月 51.4	51.8
	23:00	米 建設支出 (前月比)	3月 0.5%	-0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



アジア	朝方108.10レベルで取引されていたドル円は、前日の日銀の追加緩和の見送り、並びに米国第1Q・GDPの低調な結果が引き続き意識され、上値の重い展開となる。午前中に108円を割り込むと下値を試す展開となり、年初来安値107.63をあっさり割り込み、一時107.08まで下落した。その後は下げ止まるも引き続き上値は重く、107円台前半でもみあい、結局107.37レベルでロンドン時間に渡る。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は1年半ぶりの安値106.90を付けた。107.37レベルでオープン、アジア時間同様日銀の追加緩和見送りを受けた市場の失望に米GDPの低調な結果やIT企業業績懸念から昨日米株が反落したことが加わりドル円は下落、下値を探りながら107.13レベルでNYへ渡った。ユーロドルは強含む。1.1385レベルでオープンし、全般的なドル売りや2016年1-3月期のユーロ圏GDP前期比が0.6%(予想0.4%前回0.3%)と欧州の景気回復傾向が確認されたことから1.1415まで買われ、1.1405レベルにてNYへ渡った。(ロンドン外貨-00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は107.13レベルでオープン。朝方は、米3月PCEコアが予想と一致し、米第1四半期雇用コストも予想と一致したが前回分が下方修正された。個人所得は予想を上回るが前回分が下方修正され、個人支出は予想を下回るが、前回分が上方修正され、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的となり、107.30付近での推移が続く。しかし、続いて発表の4月シカゴ購買部協会景気指数、並びに4月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回り、株式市場が軟化し、米金利も低下する展開に、ドル売り・円買いが強まり、106.64まで下落する。午後に入り調整のドル買いに106.98まで戻すものの、上値は重く、株式市場が下げ幅を縮小する一方、ドル売りが再び強まり、一時106.27まで下落し、106.45レベルでクロスした。一方、海外市場でドル売りが継続したことから1.1415まで戻したユーロドルは、1.1405レベルでNYオープン。朝方は、ドル売りが継続したことから、ユーロドルは1.1460まで上昇する。午後は株安を受けたユーロ円の売りに、ユーロドルも1.1434まで下押しするものの、終盤に掛けて再びドル売りが優勢となったことから、下値をサポートされ、1.1455レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-107.30	1.1380-1.1500	121.50-123.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円相場は東京休日で流動性の薄い中、前日の日銀金融政策決定会合での金融政策据え置きを受けての円高進行の流れを引き継ぎ展開となった。それまでの年初来安値となる107.63、心理的節目となる107.00もあっさり割り込むと弱い米経済指標の結果を受けてのドル売りも相俟って一時106.27まで下落した。本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。日銀後の急落を受けての反発こそ想定されるものの、先週FOMCは米国早期利上げ期待を高める材料とはならなかった上、米財務省が29日に公表した半期為替報告書で日本が初めて監視リストの対象に指定されており、円売り介入が難しくなったとの見方も円買いの材料として意識され戻りは限定的となると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。